

## 博士課程の概要

### 基本理念

本学博士課程は、以下に掲げる人材の養成を基本理念とします。

- (1) 高度な研究能力を有する政策研究の研究者
- (2) 高度の実務的専門知識と学問的体系に沿った政策分析能力を有する実務家

### 教育目標

本学博士課程は、国際的スタンダードを満たす教育を通じて、

- (1) 高度な政策研究能力
- (2) 政策研究に必要な複数分野のディシプリン
- (3) 社会科学諸分野における論文作成能力

を向上させます。

博士論文は、以下の基準を満たすものでなければなりません。

- (1) Policy-relevancy ないし policy implication を有するものであること。
- (2) それぞれの学術分野の研究動向や先行研究を踏まえ、かつ、オリジナリティーを示すものであること。
- (3) 特定政策に関する優れた分析に立脚するものであるか、鮮明な問題意識に立脚したレトロスペクテ

ィブな歴史的研究ないしはケーススタディーとして深い洞察を含むものであること。

上記基準を満たすためには、以下のいずれかを満たすことを必要要件とします。

- (1) 研究成果の一部が査読制を有する学術誌に掲載されたか、又は掲載が採択されていること。
- (2) 研究成果がすでに商業出版（出版助成等による出版を含む）されたか、あるいは予定されていること。
- (3) 上記(1)、(2)に相当すると認められる水準にあること。

### 設置プログラムの概要

本学博士課程には、GRIPS Global Governance Program (G-cube)、Policy Analysis、安全保障・国際問題、科学技術イノベーション政策、防災学、政策プロフェッショナルの6つのプログラムが設置されています。各プログラムの詳細については表1を参照してください。

## 博士課程の修了要件

### 履修指導

履修指導は、各学生が博士論文を完成させるために必要な科目全てを履修、修得することを目的として、それぞれの専門能力に応じて個別的、重点的に行います。授業形式、指導方式は以下のとおりです。

(1) 本学博士課程において提供される授業は、講義、演習、ゼミ形式等で行う。また、国際会議等における論文発表のための論文作成と発表演習、共同研究による論文作成と発表演習などを通じて行う場合もある。

(2) 政策研究者を志向する者に対する指導は、概ね、各種ディシプリンに基づく学術的成果の発表、政策分析研究の成果発表等を目的として進められる。

(3) 行政官キャリアを志向する者に対する指導は、概ね、特定政策に関する深い洞察力・歴史的検証に立脚したケーススタディーやレトロスペクティブスタディーを実施し、外部に対して発表することを目的として進める。

### 研究指導

本学博士課程における研究指導は、当該学生の研究課題と専門的能力、研究遂行能力に応じて、複数の指導教員によって構成される指導教員委員会(Advisory Committee)を通じて行います。指導教員委員会の構成は主指導教員1名、副指導教員1名以上3名以内とします。指導教員委員会は、当該学生の研究計画、これまでの科目履修状況等に応じて授業科目の履修についても指導します。授業科目の履修にあたっては、政策研究遂行上必要となる複数のディシプリン(主専攻・副専攻)を修得するものとします。

### カリキュラム

プログラム別履修概要は表2に示すとおりです。博士論文提出資格試験(Qualifying Examination/以下QE)実施概要は表3に示すとおりです。

### 修了要件

本学博士課程においては、すべての学生は(1)履修要件を満たし、(2)QEに合格した上で、(3)論文の最終審査に合格することが要求されます(博士論文

審査の標準的な実施時期については表4参照)。履修要件、QE、博士論文発表会、博士論文審査委員会の概要は以下のとおりです。

(1)原則として1年次終了前後に、表2に掲げたプログラム別履修概要の必要単位数を取得済みまたは取得が見込まれる場合、QEに臨むことができる。

(2)QEは筆記試験と口述試験で構成される(Policy Analysisプログラムでは、Basic QEとField QEが課される。詳細については表3参照。)筆記試験は主指導教員による1科目、副指導教員または、主指導及び副指導教員により認定された指導教員以外の教員による2科目(政策プロフェッショナルプログラムで博士(政策研究)の学位を希望する場合は1科目)を任意の形式(in-class, take-home, open-note(book), closed-note(book))で行い、すべての科目で100点満点中60点以上を合格とする。口述試験では学生による研究計画案をもとに質疑応答を行う。原則3名以上の審査委員全員の討議によって可否を決定する。筆記試験、口述試験に不合格の場合、それぞれ2度目まで受験可能とする。筆記試験と口述試験の両試験に合格した場合に、QE合格とする。

(3)すべての博士課程学生は博士論文発表会において、研究成果を発表し、その正当性、妥当性、学術的貢献度を公表、立証しなければならない。通常45分の口頭発表の後、45分の質疑応答を行う。博士課程学生は、査読用論文を博士論文発表会の4週間前までに教育支援課プログラム運営担当に論文全文データを提出する。プログラム運営担当は学生からの提出物一式を博士論文審査委員会に提出する。

### 博士論文審査委員会

博士論文審査委員会は、指導教員委員会メンバー(主指導及び副指導教員)に加えて、外部審査委員1名、博士課程委員会委員長代理が加わり、合計4名または5名とします。審査は、発表会での質疑応答の状況を踏まえ、審査委員全員が評価基準5~1の5段階のいずれかの評価を行い、評価の中央値が5となったものを合格とし、中央値が1となった場合に不合格とします。評価の中央値が5か1になるまで審査、評価、修正のプロセスを続けます。博士

#### 4. 博士課程

課程学生は、博士論文審査委員会の最終確認を受けた後、論文最終稿 1 部及び全文データ最終稿を博士課程委員会及び研究教育評議会の 2 週間前までにプ

ログラム運営担当に提出します。博士課程委員会及び研究教育評議会にて修了判定承認を受け、学位記が授与されます。

表1 博士課程プログラムの構成

前後期 区分	プログラム	受入 学生	フィールド (研究分野)	学位名	担当 ディレクター
5年 前期 ・ 後期 一貫 ／ 3年 後期	プログラム  <b>Policy Analysis</b> 経済学の方法論を使い、日本および世界の 政策課題を理論的、実証的に研究・分析で きる者を育成する	日本人 留学生	経済	Ph.D. in Public Economics : 博士 (公共経済学) Ph.D. in Development Economics : 博士 (開発経済学) Ph.D. in International Economics : 博士 (国際経済学) Master of Arts in Public Economics : 修士 (公共経済学) Master of Arts in Development Economics : 修士 (開発経済学) Master of Arts in International Economics : 修士 (国際経済学)	Munro
	<b>GRIPS Global Governance Program (G-cube)</b> 新しい世界秩序形成に参画する意思と能力 を併せ持つ国家・国際機関・産業界等の将 来のトップリーダーや、安全保障・外交政 策について高度な戦略性と専門性を持った 人材を養成する	日本人 留学生	政治、経済、 地域研究、 歴史、安全保 障・国際問題	Ph.D. in Advanced Policy Studies : 博士 (政策研究) Ph.D. in International Relations : 博士 (国際関係論) Ph.D. in International Development Studies : 博士 (国際開発研 究)	高橋
3年 後期	<b>安全保障・国際問題 (Security and International Studies)</b> 安全保障・外交政策について高度な戦略性 と専門性を併せ持った人材を養成する	日本人 留学生	安全保障・国際 問題	Ph.D. in International Relations : 博士 (国際関係論)	岩間
	<b>科学技術イノベーション政策 (Science, Technology and Innovation Policy)</b> 科学的なアプローチを用い、科学技術イノ ベーション政策の企画・立案、遂行、評価、 修正を行うことができる人材を育成する	日本人 留学生	科学技術イノベ ーション政策	Doctor of Policy Studies : 博士 (政策研究) Ph.D. in Public Policy : 博士 (公共政策分析)	林
	<b>防災学 (Disaster Management)</b> 水災害リスクマネジメント分野において国 及び国際的な戦略・政策の企画・実践を指 導し、研究者を育成できる人材を養成する	日本人 留学生	防災学	Ph.D. in Disaster Management : 博士 (防災学)	家田

## 4. 博士課程

	<p>政策プロフェSSIONALS (Policy Professionals)</p> <p>事例研究の蓄積を通じて、政策の現場と学 界の本質的な交流を促進し、高度な実務的 専門知識と政策分析能力を有する実務家を 養成する</p>	日本人	事例研究	<p>Doctor of Policy Studies : 博士 (政策研究) Ph.D. in Government : 博士 (政治・政策研究)</p>	飯尾
--	--	-----	------	--	----

表2 プログラム別履修概要

プログラム	フィールド (研究分野)	初年度 (QE 以前)	2 年目以降
GRIPS Global Governance Program (G-cube)	政治、経済、地域研究、歴史、安全保障、国際問題	カリキュラムに基づき 12 単位以上を履修し、研究計画を作成して QE を受験する。	チュートリアル、G-cube ワークショップを含めて必要単位を履修しつつ博士論文作成に努める。
Policy Analysis	経済	Basic QE 以前に、必修科目 6 科目 (12 単位) を履修する。Basic QE 合格後、更に 3 科目の Advanced コースを受講する。	必要に応じて経済系理論科目を履修し、Field QE に合格後、博士論文作成に努める。
安全保障・国際問題 (Security and International Studies)	安全保障・国際問題	理論科目、地域科目、政策科目を中心に 14 単位以上を履修する。	QE 終了後は、必要に応じてフィールドワークを行い、論文指導セミナーに出席しながら博士論文作成に努める。
科学技術イノベーション政策 (Science, Technology and Innovation Policy)	科学技術イノベーション政策	カリキュラムに基づき 10 単位以上を履修するとともに、論文作成の骨格を準備する。	QE 終了後は、必要に応じて研究に必要な方法論などの知識を深め、論文指導セミナーに出席しながら博士論文作成に努める。
防災学 (Disaster Management)	防災学	防災学に関する科目の中から 8 単位以上を履修する。	必要に応じて防災学に関する科目を中心に履修しつつ博士論文作成に努める。
政策プロフェッショナル (Policy Professionals)	事例研究	政策プロフェッショナルカリキュラムに基づいて 10 単位以上 (これ以上を課す場合もある) を履修するとともに、論文作成の骨格を準備する。	必要に応じて履修しつつ博士論文作成に努める。

表3 博士論文提出資格試験 (QE) 実施概要

本学博士課程学生は、必要な科目を履修し、原則として1年次終了前後に必要な単位数を取得済みまたは取得が見込まれる場合、QEに臨むことができる。

QEは筆記試験と口述試験で構成される。Policy Analysis プログラムについては、Basic QE と Field QE で構成される。

プログラム	筆記試験／Basic QE		口述試験／Field QE	
	試験者／科目	実施方法	試験者	実施方法
Policy Analysis	<p>Basic QE は以下の3科目： Microeconomics, Macroeconomics Econometrics</p> <p>以下の科目を履修後、 Basic QE の受験が可能： Advanced Microeconomics, Advanced Macroeconomics Advanced Econometrics (それぞれのコースの I, II, を履修)</p>	<p>1日に1科目、 in-class, closed-book で筆記試験を行う</p>	<p>主指導教員及び副 指導教員 (原則3名 以上)</p>	<p>学生の研究結果の初稿を口頭発表し、続いて質疑応答を行う。  Field QE の受験資格： (a)Basic QE (全3科目) に合格していること (b)Graduate Seminar I を履修済みであること (c)主指導により承認されていること</p>
GRIPS Global Governance (G-cube) Program 安全保障・国際問題 科学技術イノベーション 政策 防災学	<p>主指導教員より1科目  副指導教員または主・副 指導教員が適当と認定 した教員による2科目</p>	<p>in-class / take-home のいずれか  open / closed-book のいずれかを選択 し、筆記試験を行う</p>		<p>学生の研究計画案をもとに口頭発表を行い、質疑応答を行う</p>
政策プロフェSSIONナル	<p>主指導教員が決定した 1科目について筆記試 験を行う</p>			

表 4 博士論文審査の標準的な実施時期

	修了時期			
	3月	6月	9月	12月
博士論文審査委員の決定 (→実施体制承認・博士課程委員会)	10月第3または第4水曜日	1月第3または第4水曜日	4月第3または第4水曜日	7月第3または第4水曜日
論文提出(→査読・審査実施の公表)	11月	2月	5月	8月
博士論文発表会・審査会	12月	3月	6月	9月
最終稿提出期限	下記博士課程委員会の2週間前			
審査結果の承認(博士課程委員会)	3月第3水曜日	6月第3または第4水曜日	9月第1または第3水曜日	12月第1または第2水曜日
審査結果の承認(研究教育評議会)・修了日	同上	同上またはその直近	同上	同上またはその直近
学位記の授与	3月学位記授与式	9月学位記授与式*	9月学位記授与式	3月学位記授与式*

\*上記は評価が4だった場合のスケジュールで評価が低かった場合はこれよりも時間を要する。

\*博士課程委員会及び研究教育評議会は8月には実施していない。

\*実施時期は、年度により変更することがある。



## 博士課程プログラム

### GRIPS Global Governance Program (G-cube) (3年制)

本プログラムは、新しい世界秩序、地域秩序の形成に参画する意思と能力を持ち、国家、国際機関、産業界などで指導的な役割を果たしうるトップリーダー(Leader of Leaders)の養成を目的としています。そのために、長期的かつ複眼的で幅広い視野からの確かな判断をする能力と、歴史や教養に裏打ちされた大局観を培うよう、さまざまな工夫を凝らしたカリキュラムを提供します。

まず、本プログラムでは、経済学、政治学、歴史、それぞれの分野の考え方の基本と主要な分析手法を学びます。また、国家的な危機の対処に携わった人物、グローバルビジネスを展開する産業界のリーダー、世界共通の政策課題に取り組む国際機関のリーダーなどの体験談を聞き、その後の討論を通じて、大局観を身に付け、使えるように訓練します。さらに、チュートリアル中心の徹底した少人数教育を通じて、複数のトピックについて専門的な知見を学びつつ、博士論文研究のテーマや指導教員を選択する機会を提供します。学生が研究を発表する機会を数多く設けます。博士論文提出資格試験(QE)や博士論文の審査は他のプログラムと同様に厳格に行います。講義、チュートリアル、論文指導、試験等はすべて英語で行います。

本プログラムは、ミッドキャリアの行政官のほか、さまざまな分野でグローバルな活躍を目指す方々を対象としています。

### Policy Analysis Program(5年制・3年制)

#### (1) 目的

本プログラムでは、経済学の方法論を使い、日本および世界の政策課題を理論的、実証的に研究・分析できる者を育成します。

#### (2) プログラムの特色

① 学生は通常 10 月に入学し、標準修業年限は 5 年です。修士は 2 年で取得可能であり、既に経済学の修士を取得した上で本プログラムに入学する人は、最短 3 年で博士の学位を取得することも可能です。

② アドバンスレベルのミクロ経済学、マクロ経済学、及び計量経済学を履修し、博士論文提出資格試験(Qualifying Examination/以下 QE)に合格することによって、博士論文執筆に進むことができます。Policy Analysis Program については、Basic QE 及び Field QE が課されます。

③ 経済学の方法論の習得を必須とし、経済学の各論、および、政策分析の関連科目を履修することで、様々な政策課題に対応できる力を養います。

④ 政策分析に必要な経済学の方法論を習得することと並行して、講義・演習・研究会等の中で実際の政策立案や分析を行っている担当者や OB らと日常的に接することを通じて、問題意識の醸成とその解決策について考察する機会を提供します。

⑤ 入学に対して必ずしも経済学に関する学位や予備知識を要求しませんが、経済学に関する知識と理解の程度に応じて、必修科目を履修する前にそれよりも基礎的な科目の履修を求めたり、あるいは、必修科目の一部の履修を免除するなど、学生の能力に応じた教育を行います。

⑥ 日本人だけでなく、外国人の学生も多く在籍するため、また博士号取得後直ちに国際的に通用する人材を輩出するため、すべての講義は英語で行われます。

#### (3) 専門分野(取得可能な学位の種類)

プログラムにおいて以下の専門分野を設定し、それぞれにおいて MA 及び Ph. D. の学位を授与します。

Public Economics

Development Economics

International Economics

### 安全保障・国際問題プログラム(3年制)

21 世紀に入り、グローバル化の進展とともに安全保障や国際関係の概念も従来の定義を越えて拡大し、安全保障・外交政策の課題として考えるべき範囲も拡大しつつあります。また、アジアにおいてもパワーバランスの劇的な変化や情勢の複雑化などに伴い、政治、経済、法律、社会、文化等を踏まえつつ、より戦略的に安全保障・外交上の政策課題に取り組むことが求められています。

本プログラムは、こうした問題意識の下、防衛省、外務省と連携しつつ、学問と実践、理論と政策の両方に精通し、専門性と戦略性を併せ持った安全保障・外交問題の専門家・実務家を養成することを目的としています。

本プログラムでは、国内外の政界、官界、学界などから広く学生を受け入れます。募集対象は、社会科学分野、特に国際関係、政治学、法学、経済学などの分野の修士号取得者となります。

本プログラムの卒業生は、各国政府、研究機関、国際組織などにおいて指導的な立場に立ち、安全保障・外交問題の専門家として活躍することが期待されています。

### 科学技術イノベーション政策プログラム(3年制)

知識が経済・社会の発展に大きな影響を及ぼす知識基盤社会においては、科学技術イノベーション政策の役割は、科学知識の発展のためだけでなく、新産業創出や、雇用の確保、生活の質の向上、環境問題、さらには SDGs を含めた社会課題の解決のためにも急速に高まっています。また、デジタル化の時代において研究開発やイノベーションの方法論も変化し、その政策やマネジメントのあり方の理解も必要となっています。

こうした背景のもと、本プログラムでは、エビデンスベースのアプローチを用い、科学技術イノベーション政策の企画・立案、遂行、評価、修正を行うことができる人材の育成を目指します。特に、このような人材に求められる高度な政策研究能力と企画力、そのために必要となる複数のディシプリンの修得、社会科学諸分野における分析能力、高等教育での教授能力、高度の外国語能力を身につけた、行政官、実務者、研究者等を養成することを目指しています。

教授陣には、国内外の優れた科学技術イノベーション政策研究の専門家を揃え、さらにより実践的な研究教育を行うため、科学技術イノベーション政策を専門とし、第一線で活躍する実務家を講師として迎えています。また、優れた研究者や実務家を招いた研究会、講演会も開催します。

本プログラムは、原則として、すでに修士の学位を持つ政策に関わる実務家もしくは当該分野における研究・教育職の志望者を受け入れます。学位は、行政官等の実務家向け学位 (Doctor) 又は研究者向け学位 (Ph.D.) の 2 種類を用意し、志望者

の希望や特性に応じた論文執筆指導を行います。

### 防災学プログラム(3年制)

近年、都市化や工業化の進展、気候変動などにより、水災害は世界中で増加・深刻化しており、激甚な被害が経済発展を著しく阻害しています。こうした災害に対する抵抗力を構築し持続的な開発を行うには、水災害リスクマネジメントの研究者や教育者、戦略・政策立案者の養成が求められています。政策研究大学院大学 (GRIPS) と土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM) は、国及び国際的な戦略・政策の企画・実践を指導し、研究者を育成することができると人材を養成することを目的とします。

本プログラムでは、すでに修士の学位を取得した者、もしくは同等の能力を有し、大学あるいは研究機関等での研究経験や水災害リスクマネジメント分野での実務経験を有する学生を受け入れます。本プログラムは英語で行われ、標準修業年限は 3 年です。

本プログラムには、東京大学との単位相互認定交換制度があります。また、ICHARM のリサーチ・アシスタント (ICHARM RA) として採用される可能性もあり、その場合には、ICHARM の研究補助業務に従事しながら、博士課程を修了することができます。これは、研究を行いながら ICHARM での実務を学び経験できる非常に良い機会になります。

### 政策プロフェッショナルプログラム(3年制)

高度な実務的専門知識と政策分析能力を有する実務家を養成するという本学建学の理念に沿って、すでに政策に関わる職務経験を十分に積み、基礎的な政策分析能力をも備えた実務家などを対象に、事例研究を軸とした博士論文の執筆を主たる内容とする博士課程のプログラムが政策プロフェッショナルプログラムです。なお、本プログラムでは、プログラムの性格から、原則として Ph.D. とは違う学位である博士 (政策研究) = Doctor of Policy Studies を授与していますが、入学前の修学経験や履修条件などを考慮して、場合によって、博士 (政治・政策研究) = Ph.D. in Government を授与することがあります。

教育課程は、原則として入学後 1 年間で集中的に必要な講義・演習を履修するとともに、演習を

#### 4. 博士課程

通じて論文の骨格を作成し、2年目以降は、職場に戻って実務をこなしつつ、論文の完成を目指して研究を続け、入学後3年間で博士の学位を取得することを標準として設計されています（軽減された職務につきながら履修する場合、最初の集中的履修期間を2年にすることもできます）。

本プログラムは、それぞれがすでに持っている問題意識と経験を最大限に生かし、それに本学における学問分野のトレーニングを効率的に組み合わせることで、優れた事例研究を世に問うとともに、それを通じて高度な実務家としての能力に磨きを掛けることを目指しています。そのため、カリキュラムは、必要な学問分野における分析能力を身につける科目とともに、視野を広げるための科目や論文の書き方などの研究技術に関わる科目などを集中的に履修する仕組みとなっています。学問分野としては、政治・行政学を基盤としながら、経済学や国際関係論、法学、工学などさまざまな分野を総合的に応用することとします。

本プログラムは、原則として、すでに修士の学位を持つ政策に関わる実務家で、博士レベルの事例研究を遂行するに足る実務経験、あるいは研究能力を備えた者で、官公庁や報道機関、NPOなど

に在籍し、10年以上の経験を有している者を対象とします。ただし、修士の学位を持たない場合や、経験年数が満たない場合にも、適性に応じて審査の上で入学を認める場合があります。

本プログラムには、4月、8月、10月に入学が可能ですが、4月の入学を奨励し、転任などの都合で修学時期を確保するために必要なときなどに限って8月または10月の入学を認めています。入学時期のほか、出願者の入学前の準備状況・研究テーマによって、能力にかかわらず入学がかなわない場合もありますので、受験希望者は、アドミッションズオフィスを通じて、早めにプログラム・ディレクターに事前相談を行うことをお勧めします。

## Academic Year 2021-2024 Curriculum

## (1) GRIPS Global Governance Program (G-cube) (Three Year Ph.D. Course)

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Ph.D.
I Required Courses	GGG5030EA	Dissertation Proposal Seminar	TAKAHASHI Kazushi, KARUSIGARIRA Ian	Fall through Winter	2	4
	GGG6050E	G-cube Workshop	KIJIMA Yoko, TAKAGI Yusuke	Fall/Winter/Spring/Summer	2	
II Recommended Courses		See Auxiliary Table				14
	GGG5110E	* Tutorial I	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2	
	GGG5120E	* Tutorial II	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2	
	GGG5130E	* Tutorial III	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2	
III Elective Courses		Courses not listed in this table (with the advisory committee's approval)				22
X Others		** Courses offered by the Center for Professional Communication				

## Notes:

- Students are required to complete a minimum of 22 credits. Of these credits, 4 credits must come from Category I and 14 credits from Category II. The remaining 4 credits may be taken from Category II or III.
- Students are required to pass the qualifying exam (QE) consisting of three written exams and an oral exam.
- To take the QE, students in GGS and IDS Concentration are required to complete Dissertation Proposal Seminar (GGG5030EA) and 10 credits from Category II including 2 credits of Tutorial (GGG5110E or GGG5120E). Students in SIS Concentration are required to complete Dissertation Proposal Seminar (GGG5030EA) and 10 credits from Category II including 4 credits from Group A in Auxiliary Table.
- Students can take G-cube Workshop (GGG6050E) and Tutorial III (GGG5130E) for credit only after passing the QE.
- \* Tutorials are small-sized classes with two to five students. Tutorials count toward the degree only if they satisfy the rules specified by the G-cube Tutorial Guideline.
- \*\* Credits earned in these courses cannot count toward the degree.
- Courses offered in the Program are subject to change.

## 4. 博士課程

**[AuxiliaryTable] GRIPS Global Governance Studies Concentration**

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Ph.D.	
II Recommended Courses	GOV6300E	State and Governance	TAKAGI Yusuke	Spring	2	8	
	GOV6460E	Advanced International Relations in East Asia	TAKAGI Yusuke	Fall	2		
	GOV6461E	The Making of Modern Japan (Advanced)	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Fall	2		
	GOV6901E	Advanced Comparative Development Studies of Asia	KAWANO Motoko	Spring	2		
	GOV7231E	Politics and Diplomacy in Postwar Japan	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Spring	2		
	GOV7241E	Advanced International Security Studies	MICHISHITA Narushige	Fall	2		
	GOV7261E	Politics in Africa	KARUSIGARIRA Ian	Winter	2		
	GOV7311E	Comparative Politics	TAKENAKA Harukata	Fall	2		
	GOV7461E	State and Politics in Southeast Asia (Advanced)	LIM Guanle	TBA	2		
	GOV8311E	Advanced Comparative Political Economy	KANCHOOCHAT Veerayooth	Spring	2		
	GOV8321E	States, Regimes, and Institutions in Contemporary Africa	KARUSIGARIRA Ian	Spring	2		
	GOV8401E	Advanced International Relations in Europe	IWAMA Yoko	Spring	2		
	GEN8001E	International Development Policy	OHNO Izumi	Winter	2		2
	ECO2720EA	Introduction to Applied Econometrics	IZUMI Yutaro	Fall	2		
	ECO3530E	Resource and Energy Economics	TANAKA Makoto	Winter	2		
	ECO3690E	Monetary and Fiscal Policy	YOSHINO Naoyuki	Spring	2		
	ECO3810E	Economic Development of Japan	OHNO Kenichi	Spring	2		
	ECO3840EB	Development Economics	KIJIMA Yoko	Winter	2		
	ECO3860E	Development History of Asia: Policy, Market and Technology	NAKAO Takehiko	Spring	2		
	ECO3870E	Agricultural Development	KIJIMA Yoko	Spring (Session I)	2		
	ECO3920E	Economic History and Institutions	IZUMI Yutaro	Spring	2		
	ECO6090E	Theoretical Foundation of Economic Policy	TAKAHASHI Kazushi	Fall	2		
	ECO6810E	Advanced Development Economics	YAMAUCHI Chikako	Fall	2		
	ECO6820E	Economics of Health and Education	YAMAUCHI Chikako	Spring	2		
	ECO7821E	Advanced Gender and Development	ESTUDILLO Jonna P.	Spring (Session II)	2		
	ECO7861E	Advanced Poverty Alleviation	TBA	TBA	2		
	ECO7881E	Trade and Industrial Development	SONOBE Tetsushi	Spring	2		

Notes:

Students in the GGS Concentration need to earn at least 8 credits from GOV courses and 2 credits from ECO or GEN courses listed under Category II.

[AuxiliaryTable] GRIPS International Development Studies Concentration

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Ph.D.
II Recommended Courses	GOV6300E	State and Governance	TAKAGI Yusuke	Spring	2	2
	GOV6460E	Advanced International Relations in East Asia	TAKAGI Yusuke	Fall	2	
	GOV6461E	The Making of Modern Japan (Advanced)	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Fall	2	
	GOV6901E	Advanced Comparative Development Studies of Asia	KAWANO Motoko	Spring	2	
	GOV7231E	Politics and Diplomacy in Postwar Japan	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Spring	2	
	GOV7241E	Advanced International Security Studies	MICHISHITA Narushige	Fall	2	
	GOV7261E	Politics in Africa	KARUSIGARIRA Ian	Winter	2	
	GOV7311E	Comparative Politics	TAKENAKA Harukata	Fall	2	
	GOV7461E	State and Politics in Southeast Asia (Advanced)	LIM Guanie	TBA	2	
	GOV8311E	Advanced Comparative Political Economy	KANCHOOCHAT Veeravooth	Spring	2	
	GOV8321E	States, Regimes, and Institutions in Contemporary Africa	KARUSIGARIRA Ian	Spring	2	
	GOV8401E	Advanced International Relations in Europe	IWAMA Yoko	Spring	2	
	GEN8001E	International Development Policy	OHNO Izumi	Winter	2	
	ECO2720EA	Introduction to Applied Econometrics	IZUMI Yutaro	Fall	2	8
	ECO3530E	Resource and Energy Economics	TANAKA Makoto	Winter	2	
	ECO3690E	Monetary and Fiscal Policy	YOSHINO Naoyuki	Spring	2	
	ECO3840EB	Development Economics	KIJIMA Yoko	Winter	2	
	ECO3810E	Economic Development of Japan	OHNO Kenichi	Spring	2	
	ECO3860E	Development History of Asia: Policy, Market and Technology	NAKAO Takehiko	Spring	2	
	ECO3870E	Agricultural Development	KIJIMA Yoko	Spring (Session I)	2	
	ECO3920E	Economic History and Institutions	IZUMI Yutaro	Spring	2	
	ECO6090E	Theoretical Foundation of Economic Policy	TAKAHASHI Kazushi	Fall	2	
	ECO6810E	Advanced Development Economics	YAMAUCHI Chikako	Fall	2	
	ECO6820E	Economics of Health and Education	YAMAUCHI Chikako	Spring	2	
	ECO7821E	Advanced Gender and Development	ESTUDILLO Jonna P.	Spring (Session II)	2	
	ECO7861E	Advanced Poverty Alleviation	TBA	TBA	2	
ECO7881E	Trade and Industrial Development	SONOBE Tetsushi	Spring	2		

Notes:

The students in the IDS Concentration need to earn at least 8credits from ECO courses and 2 credits from GOV or GEN courses listed in Category II.

4. 博士課程

**[AuxiliaryTable] GRIPS Security and International Studies Concentration**

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Ph.D.	
II Recommended Courses	Group A	GOV6210E	International Political Economy Workshop	CHEY Hyoung-kyu	Fall	2	4
		GOV7201EA	* Advanced International Relations	TBA	TBA	2	
		GOV7201EB	* Advanced International Relations	BRUMMER Matthew	Fall	2	
		GOV7241E	Advanced International Security Studies	MICHISHITA Narushige	Fall	2	
		GOV7311E	Comparative Politics	TAKENAKA Harukata	Fall	2	
	Group B	GOV6220E	Strategic Studies Research Seminar	MICHISHITA Narushige	Spring	2	6
		GOV6460E	Advanced International Relations in East Asia	TAKAGI Yusuke	Fall	2	
		GOV6461E	The Making of Modern Japan (Advanced)	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Fall	2	
		GOV7231E	Politics and Diplomacy in Postwar Japan	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Spring	2	
		GOV7251E	Advanced Chinese Foreign Policy	TBA	TBA	2	
		GOV7271E	Advanced American Foreign Policy	TBA	TBA	2	
		GOV8111E	Advanced Political Economy of Modern Japan	TBA	TBA	2	
		GOV8221E	Politics of Global Money and Finance (Advanced)	CHEY Hyoung-kyu	Fall	2	
		GOV8311E	Advanced Comparative Political Economy	KANCHOOCHAT Veeravooth	Spring	2	
		GOV8401E	Advanced International Relations in Europe	IWAMA Yoko	Spring	2	

Notes:

The students in the SISP Concentration need to earn at least 4credits from Groups A and 6 credits from Group B. The students are not allowed to take both GOV7201EA and GOV7201EB for credit.

**Academic Year 2021-2026 Curriculum  
(2)-1 Policy Analysis (Five Year Ph.D. Course)**

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Master's	Ph.D.
I Required Courses	ECO6000E	Advanced Microeconomics I	YAMAZAKI Akio	Fall (Session I)	2	16	8
	ECO6010E	Advanced Microeconomics II	YAMAZAKI Akio	Fall (Session II)	2		
	ECO6050E	Advanced Macroeconomics I	PORAPAKKARM Ponpoje	Fall (Session I)	2		
	ECO6060E	Advanced Macroeconomics II	FUJIMOTO Junichi	Fall (Session II)	2		
	ECO6700E	Advanced Econometrics I	LITSCHIG Stephan	Fall (Session I)	2		
	ECO6710E	Advanced Econometrics II	HAYASHI Fumio	Fall (Session II)	2		
	ECO7010E	Graduate Seminar I	LITSCHIG Stephan, MATSUMOTO Hidehiko, YAMAZAKI Akio, IZUMI Yutaro	Spring/Fall	4		
	ECO7020E	* Graduate Seminar II	LITSCHIG Stephan, MATSUMOTO Hidehiko, YAMAZAKI Akio, IZUMI Yutaro	Spring/Fall	4		
	ECO7030E	* Graduate Seminar III	LITSCHIG Stephan, MATSUMOTO Hidehiko, YAMAZAKI Akio, IZUMI Yutaro	Spring/Fall	4		
II Recommended Courses	ECO6020E	Advanced Microeconomics III	MUNRO Alistair	Spring (Session I)	2	30	38 (Including master's credits)
	ECO6030E	Advanced Microeconomics IV	TBA	Spring (Session II)	2		
	ECO6070E	Advanced Macroeconomics III	HAYASHI Fumio	Winter	2		
	ECO6080E	Advanced Macroeconomics IV	HSU Minchung	Spring (Session I)	2		
	ECO6720E	Advanced Econometrics III	TBA	TBA	2		
	ECO6730E	Advanced Econometrics IV	LEON-GONZALEZ Roberto	Spring (Session I)	2		
III Elective courses	ECO2720EB	Introduction to Applied Econometrics	WIE Dainn	Fall	2	6	
	ECO3000E	Mathematics for Economic Analysis	MUNRO Alistair	Fall	2		
	ECO6770E	Computer Programming for Economics	PORAPAKKARM Ponpoje	Fall (Session II)	2		
	ECO7040E	* Graduate Seminar IV	LITSCHIG Stephan, MATSUMOTO Hidehiko, YAMAZAKI Akio, IZUMI Yutaro	Spring/Fall	4		
	ECO7050E	* Graduate Seminar V	LITSCHIG Stephan, MATSUMOTO Hidehiko, YAMAZAKI Akio, IZUMI Yutaro	Spring/Fall	4		
		Courses not listed in this table (with program director's approval).					
X Others		** Courses offered by the Center for Professional Communication					
Notes:							
<p>1. Course requirements: For a Master's degree, students must complete a minimum of 30 credits, 16 of which must come from Category I . For the Ph.D. degree, students must complete a minimum of 38 credits in total. Students must complete a minimum of 24credits from Category I and 6 credits from Category II.</p> <p>2. If a student takes the same course in both English and Japanese, only one course will count toward the degree.</p> <p>3. The courses marked with * can be registered only by those who passed Basic QE.</p> <p>4. A students who has passed the Basic QE is required to attend the Policy Analysis Workshop and make at least two presentations prior to submitting the PhD dissertation.</p> <p>5. Students are required to submit a policy paper as a requirement for the Master's degree. In the PA program, this is done in Graduate Seminar I.</p> <p>6. Students who do not have any sufficient backgrounds in intermediate level microeconomics, macroeconomics, and econometrics should take Microeconomics I, II, Macroeconomics I, II, and Introduction to Applied Econometrics.</p> <p>7. ** Credits earned in these courses cannot count toward the degree.</p> <p>8. The degree title shall be 'PhD in International Economics', 'PhD in Development Economics' or 'PhD in Public Economics' determined according to the electives taken by the student, the content of the dissertation and the advice of the Program Director.</p> <p>9. Courses offered in the Program are subject to change.</p>							



4. 博士課程

Academic Year 2021-2024 Curriculum  
(2)-2 Policy Analysis (Three Year Ph.D. Course)

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Ph.D.
I Required Courses	ECO6000E	* Advanced Microeconomics I	YAMAZAKI Akio	Fall (Session I)	2	24
	ECO6010E	* Advanced Microeconomics II	YAMAZAKI Akio	Fall (Session II)	2	
	ECO6050E	* Advanced Macroeconomics I	PORAPAKKARM Ponpoje	Fall (Session I)	2	
	ECO6060E	* Advanced Macroeconomics II	FUJIMOTO Junichi	Fall (Session II)	2	
	ECO6700E	* Advanced Econometrics I	LITSCHIG Stephan	Fall (Session I)	2	
	ECO6710E	* Advanced Econometrics II	HAYASHI Fumio	Fall (Session II)	2	
	ECO7010E	Graduate Seminar I	LITSCHIG Stephan, MATSUMOTO Hidehiko, YAMAZAKI Akio, IZUMI Yutaro	Spring/Fall	4	
	ECO7020E	** Graduate Seminar II	LITSCHIG Stephan, MATSUMOTO Hidehiko, YAMAZAKI Akio, IZUMI Yutaro	Spring/Fall	4	
	ECO7030E	** Graduate Seminar III	LITSCHIG Stephan, MATSUMOTO Hidehiko, YAMAZAKI Akio, IZUMI Yutaro	Spring/Fall	4	
II Recommended Courses	ECO6020E	* Advanced Microeconomics III	MUNRO Alistair	Spring (Session I)	2	6
	ECO6030E	* Advanced Microeconomics IV	TBA	Spring (Session II)	2	
	ECO6070E	* Advanced Macroeconomics III	HAYASHI Fumio	Winter	2	
	ECO6080E	* Advanced Macroeconomics IV	HSU Minchung	Spring (Session I)	2	
	ECO6720E	* Advanced Econometrics III	TBA	TBA	2	
	ECO6730E	* Advanced Econometrics IV	LEON-GONZALEZ Roberto	Spring (Session I)	2	
III Elective Courses		Courses not listed in this table (with program director's approval).				
X Others		*** Courses offered by the Center for Professional Communication				
Notes:						
<p>1. This table applies to those who commenced from a GRIPS master's program with a Master's degree (internal students hereafter), and to those with equivalent ability to internal students.</p> <p>2. Course requirements: For the Ph.D. degree, students must complete a minimum of 34 credits, 24 of which must come from Category I and 6 from Category II.</p> <p>3. Internal Students may claim up to 10 credits to be transferred to the courses marked with *. With the permission of the Program Director, students who have taken all the required 6 Advanced courses as GRIPS Masters students may substitute one other ECO</p> <p>4. The courses marked with ** can be registered only by those who passed Basic QE.</p> <p>5. A students who has passed the Basic QE is required to attend the Policy Analysis Workshop and make at least two presentations prior to submitting the PhD dissertation.</p> <p>6. If a student takes the same course in both English and Japanese, only one course will count toward the degree.</p> <p>7. *** Credits earned in these courses cannot count toward the degree.</p> <p>8. The degree title shall be 'PhD in International Economics', 'PhD in Development Economics' or 'PhD in Public Economics' determined according to the electives taken by the student, the content of the dissertation and the advice of the Program Director.</p> <p>9. Courses offered in the Program are subject to change.</p>						

## Academic Year 2020-2023 Curriculum

## (3) Disaster Management

Category	Course No.	Course Title	Instructor	Term	Credit	
III Electives	DEV2020E	Supply Chain Management for Infrastructure Planners	INOUE Satoshi	Fall	2	8
	DMP2800E	Hydrology	MIYAMOTO Mamoru, KOIKE Toshio	Fall through Winter	2	
	DMP2810E	Hydraulics	HARADA Daisuke, EGASHIRA Shinji	Fall through Winter	2	
	DMP7001E	Advanced Disaster Management Policies A: from Regional and Infrastructure Aspect	IEDA Hitoshi	Fall	2	
	DMP7011E	Advanced Disaster Management Policies B: from Urban and Community Aspect	SUGAHARA Masaru	Fall	2	
	DEV7501E	Advanced Infrastructure and Regional Development: Lessons from the Past	IEDA Hitoshi	Spring	2	
	DMP7821E	Advanced Integrated Flood Management	TAKEUCHI Kuniyoshi	Fall through Winter	2	
	DMP7871E	Advanced Urban Flood Management and Flood Hazard Mapping	TANAKA Shigenobu	Fall through Winter	2	
	DMP7901E	Socio-economic and Environmental Aspects of Advanced Sustainability-oriented Flood Management	OHARA Miho, SUMI Tetsuya	Fall through Winter	2	
	DMP8811E	Advanced Flood Hydraulics and River Channel Design	FUKUOKA Shoji	Fall through Winter	2	
	DMP8821E	Advanced Mechanics of Sediment Transportation and Channel Changes	EGASHIRA Shinji	Fall through Winter	2	
	DMP8830E	Advanced Hydrometeorology	KOIKE Toshio, RASMY Mohamed	Spring	2	
	DMP8840E	Advanced Hydrodynamics	YOROZUYA Atsuhiko	Spring	2	
	DMP8850E	International Policies on Water and Disasters	HIROKI Kenzo	Fall	2	
		Courses not listed in this table (with the program director's approval)				

## Notes

- Course requirements: For Ph.Ds., students must complete a minimum of 8\* credits from category III, pass the Qualifying Examination (QE), and pass the final thesis evaluation.  
\* In addition, if a student is advised to take disaster management courses by supervising committee, he or she will be required to take these for up to 4 credits from category III.
- The written component of the QEs will be conducted for one course given by the supervisor, and two or three courses given by the advisors.
- After starting dissertation work, students are required to report on research that they are planning or working on, at Preliminary Presentations(Ph.D. Candidate Seminars).
- Courses offered in the Program are subject to change.

4. 博士課程

Academic Year 2021-2024

(4) Science, Technology and Innovation Policy

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Requirement
I Required Courses	ST1801E	Research Seminar I	Various	Fall through Winter/Spring through Summer	1	4
	ST1802E	Research Seminar II	Various	Fall through Winter/Spring through Summer	1	
	ST1803E	Research Seminar III	Various	Fall through Winter/Spring through Summer	1	
	ST1804E	Research Seminar IV	Various	Fall through Winter/Spring through Summer	1	
II Recommended Courses	EC07721EA	Introduction to Applied Econometrics (Advanced)	IZUMI Yutaro	Fall	2	6
	EC07881E	Trade and Industrial Development	SONOBE Tetsushi	Spring	2	
	EC08841EA	Development Economics (Advanced)	YAMAUCHI Chikako	Spring	2	
	MOR7011E	Quantitative Data Analysis	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, TAKENOUCHEI Takashi	Fall	2	
	DMP8850E	International Policies on Water and Disasters	HIROKI Kenzo	Fall	2	
	ST1600E	Economics of Innovation	INTARAKUMNERD Patarapong	Fall	2	
	ST1601J	科学技術政策過程論	SUNAMI Atsushi	Biyearly Spring	2	
	ST1606J	科学技術イノベーション政策概論	SUZUKI Jun, NEI Hisanori, SUMIKURA Koichi, IIZUKA Michiko, HAYASHI Takayuki, SUNAMI Atsushi, ARIMOTO Tateo, et al.	Spring (Session II)	2	
	ST1607J	公的機関からのイノベーション創出	SUMIKURA Koichi, HAYASHI Takayuki, IIZUKA Michiko, et al.	Spring (Session II)	2	
	ST1608J	科学技術イノベーション政策立案演習	HAYASHI Takayuki, SHICHIJO Naohiro, et al.	Summer	2	
	ST1609E	Politics of Innovation	BRUMMER Matthew	Biyearly Spring	2	
	ST1610J	イノベーションと経済学	SUZUKI Jun	Spring	2	
	ST1611J	科学技術イノベーション政策のためのミクロ経済学	NAGANE Hiromi	Fall (session II)	2	
	ST1703E	Bibliometrics and Applications	HAYASHI Takayuki	Biyearly Spring	2	
	ST1703J	ビブリオメトリクスとその応用	HAYASHI Takayuki	Biyearly Spring	2	
	ST1706E	Policy for Higher Education and University-Industry Cooperation	SUMIKURA Koichi	Biyearly Fall	2	
	ST1706J	高等教育・産学連携政策	SUMIKURA Koichi	Biyearly Fall	2	
	ST1707J	科学技術外交論	HIROKI Kenzo, SUNAMI Atsushi	Fall (session II)	2	
	ST1708E	Comparative Analysis of Science, Technology and Innovation Policy: Asian Experiences	INTARAKUMNERD Patarapong	Fall	2	
	ST1715E	Comparative Paths of Science, Technology and Innovation Policy	UEYAMA Takahiro	TBA	2	
	ST1715J	科学技術イノベーション政策の史的比較	UEYAMA Takahiro	TBA	2	
	ST1716E	Outline of Energy Policy	NEI Hisanori	Fall (Session I)	2	
	ST1717E	Energy and Environmental Science&Technology	NEI Hisanori, SHIBATA Yoshiaki	Spring	2	
	ST17180E	Advanced Energy Policy	NEI Hisanori, TOYODA Masakazu	Spring (Session II)	2	
	ST1719E	Roles of Intellectual Property Rights in Globalized World	SUMIKURA Koichi, ESCOFFIER Luca	Spring	2	
	ST1720J	科学技術とアントレプレナーシップ	SUMIKURA Koichi, MAKI Kanetaka	Spring	2	
	ST1721E	Science, Technology and Innovation Policy in Developing Country Context	IIZUKA Michiko	Fall	2	
	ST1722J	科学技術イノベーション政策と評価 (Evaluation of Science, Technology and Innovation Policy)	HAYASHI Takayuki	Fall	2	
	ST1723E	Energy Data Analysis	NEI Hisanori, SUEHIRO Shigeru	Fall (Session II)	2	
	ST1724E	History of Japanese Science, Technology and Innovation Policy	ARIMOTO Tateo	Fall	2	
	ST1725J	計量分析演習	SUZUKI Jun	Fall (Session I)	2	
	ST1726J	科学技術行政システムと指標	HAYASHI Takayuki, IIZUKA Michiko, IJICHI Tomohiro	Spring (Session I)	2	
	ST1727J	知的財産マネジメント I	SUMIKURA Koichi	Spring	2	
	ST1728J	知的財産マネジメント II	SUMIKURA Koichi	Fall	2	
ST1805E	Energy Security	NEI Hisanori, KUTANI Ichiro	Spring	2		
ST1806E	Energy Policy in Japan	NEI Hisanori	Spring	2		
ST1807E	Research Seminar V	Various	Fall through Winter/Spring through Summer	1		
ST1808E	Research Seminar VI	Various	Fall through Winter/Spring through Summer	1		
ST1810J	科学技術イノベーション政策特論 I	KOBAYASHI Toshiya	Fall	2		
ST1811J	科学技術イノベーション政策特論 II	KOBAYASHI Toshiya	Spring	2		
ST1812J	科学技術イノベーション政策特論 III	MOROGA Kana	Fall	2		
ST1813J	科学技術イノベーション政策特論 IV	TBA	TBA	2		
ST1814J	科学技術イノベーション政策特論 V	TBA	Biyearly Summer	1		
ST1815J	科学技術イノベーション政策特論 VI	SUMIKURA Koichi	Biyearly Summer	1		
ST1816J	科学技術イノベーション政策特論 VII	UEYAMA Takahiro	Fall (Session I)	1		
ST1817J	科学技術イノベーション政策特論 VIII	TBA	TBA	1		
III Elective Courses		Courses not listed in this table (with Program director's approval)				
X Others		* Courses offered by the Center for Professional Communication				

Notes:

1. Course Requirements

Students must fulfill the requirements shown below and pass an oral dissertation defense.

- a) Category I: 4 credits
- b) Category II: at least 6 credits
- c) Category II -III: at least 4 credits

Students are expected to take QE after earning at least 2 credits from Category I, at least 6 credits from Category II and 2 credits from Category III (total 10 credits).

If students neither have completed a master degree program relating to the science, technology and innovation policy nor do have sufficient knowledge in this field, it is strongly recommended in this program that they acquire approximately 16 credits before taking QE and totally 20 credits until their completion.

2. If a student takes the same course in both English and Japanese, only one course will count toward the degree.

3. \* Credits earned in these courses cannot count toward the degree.

4. Courses offered in the Program are subject to change.

## Academic Year 2021-2024 Curriculum

## (5) Policy Professionals 政策プロフェッショナルプログラム

区分	科目番号	科目名	担当教員	学期	単位	
II 選択必修科目	GOV6100J	政策過程論特別演習 (Special Seminar for Policy Process)	IIO Jun	Spring	2	4
	GOV6910J	事例研究方法論 (Scope and Methods of Case Studies)	IIO Jun	Summer/Winter	2	
	GOV6920J	社会科学方法論＝質的分析 (Social Science Methodology for Qualitative Analysis)	IIO Jun	Fall	2	
	GOV6930J	社会科学方法論＝量的分析 (Social Science Methodology for Quantitative Analysis)	MASUYAMA Mikitaka	Fall	2	
III 選択科目	GOV6110J	日本政治研究特別演習 (Special Seminar for Japanese Politics)	TAKENAKA Harukata	Fall	2	10
	GOV6460E	Advanced International Relations in East Asia	TAKAGI Yusuke	Fall	2	
	GOV6461E	The Making of Modern Japan (Advanced)	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Fall	2	
	GOV6520J	行政学特別演習 (Special Seminar for Public Administration)	TBA	TBA	2	
	GOV7101J	政策過程論 (Policy Process)	IIO Jun	Spring	2	
	GOV7201EA	Advanced International Relations	TBA	TBA	2	
	GOV7231E	Politics and Diplomacy in Postwar Japan	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Spring	2	
	GOV7311E	Comparative Politics	TAKENAKA Harukata	Fall	2	
	GOV8221E	Politics of Global Money and Finance (Advanced)	CHEY Hyoung-kyu	Fall	2	
	GOV8311E	Advanced Comparative Political Economy	KANCHOOCHAT Veerayooth	Spring	2	
	GOV8401E	Advanced International Relations in Europe	IWAMA Yoko	Spring	2	
	MOR6300E/J	Mathematical Modeling Analysis / 数理モデル分析	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, TAKENOUCI Takashi	Spring	2	
	MOR7011E	Quantitative Data Analysis	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, TAKENOUCI Takashi	Fall	2	
	本学で開講されている科目のうち、政策プロフェッショナルプログラム委員会が定めた科目 (Courses not listed in this table, admitted by the Program Committee.)					
X その他		プロフェッショナル・コミュニケーションセンター開講科目				
備考						
1 修了要件 政策事例研究演習 (Seminar for Policy Case Studies)(通年)を受講し、 次の①および②に示す要件を満たし、Qualifying Examination (QE)に合格した上で、最終論文試験に合格すること。 ① 区分 II 4単位以上 ② 区分 II・III 10単位以上 なお、入学の際に、プログラム・コミッティーが、上記単位数以上の履修を要求したときには、それに従うこと。						
2. 授業科目は、年度途中で追加開設・変更される場合がある。						
3 授業内容が同様である日本語の授業科目と英語の授業科目の両方を履修した場合は、いずれか一方の単位を修了に必要な単位としてカウントする。						
4 区分Xで取得した単位は修了要件に含まない。						





## 博士課程学生への経済的支援

### 博士課程授業料免除制度

#### 応募条件

本学博士課程に3年以上在学\*し、成績が優秀で、かつ、次のいずれかに該当すること。

- (1) 博士論文を提出し、審査を経たもので、最終合格のための論文修正を行っている学生
- (2) 免除を希望する年の4月又は10月から起算して1年以内に博士論文の提出及び学位授与が見込まれる学生
- (3) 病気その他やむを得ない事由により休学していた者が復学し、復学後1年以内に博士論文の提出及び学位授与が見込まれる学生

\* 休学期間は含みません。

#### 審査

選考委員会が博士論文の執筆状況、成績、研究成果・業績、その他学生の事情等を基準に審査を行います。

#### 免除期間

原則として1年を上限とします(免除申請期間ならびに論文執筆状況を基準とし、選考委員会が決定します)。

#### 申請方法

年に2回、以下の時期に申請を受け付けます。所定の期日までに、主指導教員の推薦状を添えて「授業料の免除申請書」を教育支援課総務担当に提出してください。期の途中からの免除を希望する場合も、所定の期日までに漏れなく申請してください。

- ・ 前期授業料(4月～9月): 2月
- ・ 後期授業料(10月～翌年3月): 8月

#### 結果の通知

申請期限より1ヶ月前後で、文書にて通知します。

### ティーチング・アシスタント/リサーチ・アシスタント

博士課程学生は、教育・研究上有意義で、かつ学業の遂行に悪影響がないとプログラム・ディレクターが判断した場合、ティーチング・アシスタント(TA) 又はリサーチ・アシスタント(RA) として、本

学で就労することができます。TA 及び RA の採用申請は、講義又は研究プロジェクト担当教員が行います。

### 博士課程学生学会発表支援制度

#### 目的

博士課程学生に自らの研究成果を積極的に外部で発表する機会を提供し、研究成果発表の経験を積ませることにより、標準修業年限内での学位取得の促進を図ることを目的としています。

#### 申請資格

次の要件をすべて満たす者。

- (1) 博士課程の標準修業年限内での修了が見込まれる者
- (2) 博士論文提出資格試験(QE) に合格した者(学会発表までにQE合格が見込まれる者も含む)
- (3) 主指導教員が推奨する学会において、自ら研究発表を行う者(ポスターセッション、ペーパーフェア等による発表を除く)
- (4) 主指導教員が学会への参加を承認した者
- (5) 学会開催時点で、博士論文を未提出の者

#### 申請手続

原則として、学会のための旅行開始日の2ヶ月前までに、以下の書類を教育支援課総務担当に提出してください。なお、申請に際しては、主指導教員の承認を要します。申請書等の各種様式は、教育支援課総務担当にメールでご請求ください。

- (1) 学会発表旅費等申請書(様式1)
- (2) 当該申請に係る学会の開催通知又はプログラム、申請時点で取り寄せることができる学会の概要
- (3) 学会発表採択通知及び詳細プログラム等学生が研究発表を行うことがわかる資料\*
- (4) 航空機を利用する場合は、航空賃の見積書又は請求書(金額に航空券代以外のものが含まれている場合は、内訳がわかる資料)
- (5) 外国旅行の場合は、旅行日程がわかる資料(旅行会社等から発行される旅程表等)

\* (3) 学会発表採択通知及び詳細プログラムの提出が遅れる場合は、「予備審査」として参加する学会が

支援の対象となるかの審査を行います。「予備審査」を行った学会については、書類が整った時点で支援の可否の最終決定のため「本審査」を行いますので、書類が発行され次第早急に提出してください。

出発前に当該資料が提出できない場合は、学会発表のための旅行が終了した日の翌日から2週間以内に提出してください。なお、3月に行われる学会発表については、上記書類を全て、出発前に提出してください。

#### 留意事項

- (1) 旅程には私用を含まないこと。
- (2) 公的資金を適正に使用することの重要性を十分に理解すること。
- (3) 学会登録をする際、所属先に本学の名称を入れること。

#### 補助の決定及び内容

(1) 本制度による補助の可否及び支援内容については、申請書類に基づき、奨学金等委員会が決定します。

\* 書類の提出が遅れる場合、又は不備書類が提出された場合は、補助の決定が遅れることがありますので、ご了承ください。

必要書類が整わない場合、参加する学会が支援の対象となるかを判断する予備審査を行う場合があります。

(2) 支援内容は、政策研究大学院大学旅費規程(平成18年18規程第7号)に準じて算出した旅費及び学会参加費(懇親会代、食事代等は補助しない)の全部又は一部とします。

ただし、会計年度毎(4月1日～3月31日)の学生1人あたりの補助総額は25万円を超えないものとし、このうち1回の旅行に対する補助額については、国内旅行5万円、外国旅行20万円を超えないものとし、なお、上限を超える旅費については、学生の負担とします。

(3) 外国旅行及び内国旅行別に支給する旅費は、当該規程に基づき、下表1及び2のとおりとします。ただし、日当及び宿泊料は、現地での2泊3日を上限とします。

(4) 航空賃、鉄道賃、車賃又は船賃及び宿泊料(以下「航空賃等及び宿泊料」という)がセットになった料金(以下「パック料金」という)を利用した旅行の場合で、パック料金の額が当該規程に基づいて計算した航空賃等及び宿泊料に相当する額の総額より

低額であるときは、下表にかかわらず、当該パック料金の額を上限として支給します。

(5) 外国旅行のために必要な保険の費用は、当該規程に基づき、6,000円を上限に支給します。海外での医療費は高額になることから、万一の事故や病気に備え、海外旅行保険に加入することを強く勧めます。緊急時対応の為、出発前に保険証明書のコピーを教育支援課総務担当に提出してください。

#### 学会発表後の手続

学会発表のための旅行が終了した日の翌日から2週間以内に、以下の書類を教育支援課総務担当に提出し精算手続を行ってください。なお、報告書については、主指導教員の確認を要します。

- (1) 学会発表報告書(様式3)
- (2) 確定したスケジュールが記載されているプログラム等及び学会発表内容に関する資料
- (3) 航空機を利用した場合は、航空券の半券又は搭乗を確認できる書類及び航空賃の領収書(金額に航空券代以外のものが含まれている場合は、金額の内訳がわかる資料)
- (4) 外国旅行の場合は、現地での移動にかかった費用に関する領収書
- (5) やむを得ない事情により宿泊料が定額を超えた場合は、宿泊料の領収書
- (6) 学会参加費を支払った場合は、学会参加費の納付証明書  
参加費に懇親会代、食事代、宿泊代等が含まれる場合は、内訳がわかる資料を添付すること。懇親会代、食事代、宿泊代等を除いた金額が支給されます。内訳が発行されない場合は日当、宿泊料が減額となります。
- (7) 債主データ登録依頼書(様式2)(すでに口座登録をしてある場合を除く)
- (8) 旅行雑費(表1下段)を支払った場合は、その領収書

#### 注意事項

- ・ 旅行に係る領収書については、旅行後1ヶ月以内に提出を求めることがあるので保管しておくこと。
- ・ 領収書の宛名は、申請者本人とすること。

#### 支給方法

学会発表のための旅行終了後、申請者が指定した預



#### 4. 博士課程

金口座へ振り込みます。

表 1 【外国旅行】

旅費の種類	摘要	領収書提出
航空賃	成田空港又は羽田空港から学会開催地の最寄りの空港までの、最も経済的な経路かつ安価であるエコノミークラスの航空賃	○
鉄道賃	成田空港利用の場合：JR 東京駅又は自宅—成田空港駅の成田エクスプレスの運賃 羽田空港利用の場合：JR 東京駅又は自宅—羽田空港第 3 ターミナル駅の運賃	×
車賃	リムジンバス利用の場合：JR 東京駅—成田空港の料金（3,200 円）を上限に実費支給	○
船賃	旅程に応じた旅客運賃	○
現地での移動にかかる費用	学会開催地最寄りの空港から、学会会場までの移動費用（空港が学会会場と同一地域内にある場合を除く）	○
日当 (上限 3 日分)	5,000 円/日 指定都市* の場合、6,000 円/日	×
宿泊料 (上限 2 泊分)	15,000 円/泊 指定都市* の場合、21,000 円/泊 やむを得ない事情により宿泊料が定額を超えた場合、実費額(上限 42,000 円/泊)	△
旅行雑費	旅行者の予防注射料、パスポート交付手数料、査証手数料（旅行代理店への代行手数料を含む）、空港使用料、外貨交換手数料並びに出入国税、任意保険料等必要となる雑費の実費額を大学での支給可否判断を経た上で支給。なお、任意保険料については、6,000 円を上限に支給。	○

\* 指定都市は以下のとおり。

アジア：シンガポール

北米：ロサンゼルス、ニューヨーク、サンフランシスコ、ワシントン

欧州：ジュネーブ、ロンドン、モスクワ、パリ

中東：アブダビ、ジッダ、クエート、リヤド

アフリカ：アビジャン

表 2 【内国旅行】

旅費の種類	摘要	領収書提出
航空賃	合理的・経済的な通常の経路及び方法により旅行した場合の旅費	○
鉄道賃		×
車賃		○
船賃	旅程に応じた旅客運賃	○
日当 (上限 3 日分)	2,000 円/日*	×
宿泊料 (上限 2 泊分)	11,000 円/泊	×

\* 東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県及び群馬県を目的地とする日帰り旅行については、日当を支給しない。

問合せ先

教育支援課総務担当

E-mail: [kyouiku@grips.ac.jp](mailto:kyouiku@grips.ac.jp)